

県測協 九州地整3事務所と意見交換

i-Conn「真摯に取り組む」



担い手の確保・育成へ共通認識を図った意見交換会＝鹿児島市の鹿児島国道事務所

県測量設計業協会(安永幸信会長)と国土交通省九州地方整備局

の県内3事務所との意見交換会が2日、鹿児島市の鹿児島国道事務所で開催された。担い手確保・育成の観点から、

地元の受注拡大を

地元企業への受注機会の拡大など訴えた。意見交換会には、協会から安永会長をはじめ、役員や経営委員会

などから20人が参加。同局から鹿児島国道事務所、川内川河川事務所、坂元浩二所長、大隅河川国道事務所、加藤仁志所長ら24人が対応した。初めに安永会長が「担い手不足に対する対応は急がれる。i-Connによる効果を期待する国の施策に対し、真摯に取り組んでいき

たい」と話した。また、川俣所長は「パートナーシップを強固なもの

にし、鹿児島をより良くしていきたい」と言葉を送った。同日は、協会側から「国が進める『働き方改革』などに伴って、技術者等の残業時間や休日出勤の削減が求め

られている」と話し、技術者への負担軽減や不足に対応するため、地元企業の優先活用や調査基準価格等の引き上げなどを要望。業務の円滑な推進に向け意見を交わした。

いさぎよ下野市・鹿児島局事務